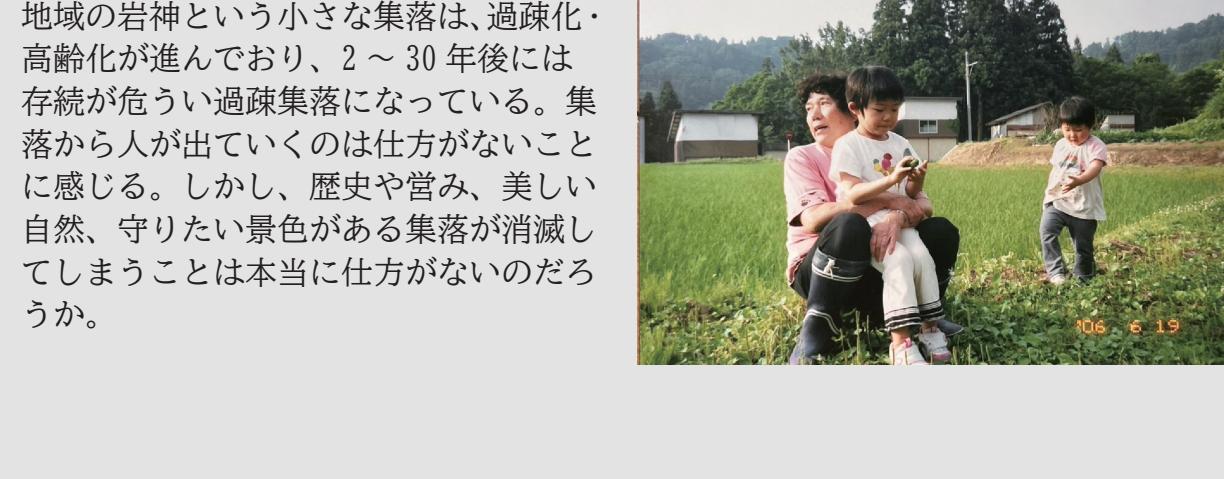


研究の背景

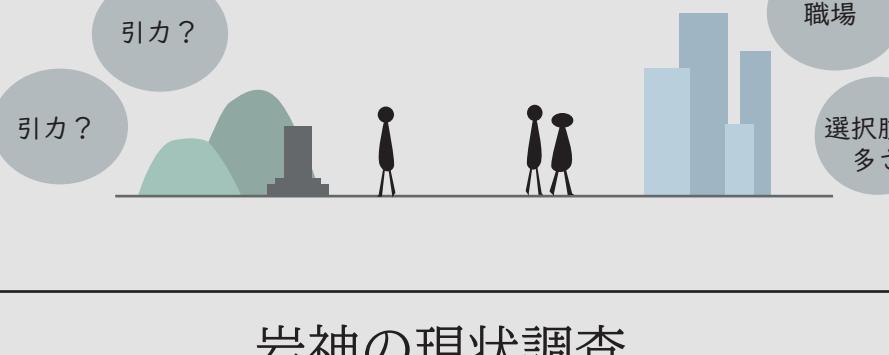


私の生まれ育った新潟県上越市の中山間地域の岩神という小さな集落は、過疎化・高齢化が進んでおり、2~30年後には存続が危うい過疎集落になっている。集落の人たちが出ていくのは仕方がないことに感じる。しかし、歴史や豊か、美しい自然、守りたい景色がある集落が消滅してしまうことは本当に仕方がないのだろうか。

研究目的

—〈引力〉の仮説1—

都市には、学校や働く場所の多さから人が集まる。遠くからでも人を引き寄せる力、すなわち〈引力〉を持っています。地方にも人がいるということは、そこにも人を引き寄せさせておく〈引力〉があるという事なのではないだろうか。



—〈引力〉の仮説2—

そして、過疎地域に働く引力とは、愛着などのポジティブな感情から来る〈愛着的引力〉と、やらないければいけない、という義務感や仕方のないと思う感情から来る〈義務的引力〉の2種類があるのではないか。



—研究目的—

岩神を対象に過疎地域に存在する〈引力〉を探る

その〈引力〉がどのように生まれ変化するのかを探る

調査方法

1 フィールド調査	岩神出身の母の案内で集落を歩き、現在の家の配置、空き家や更地などの調査を行った。	5~6月
2 文献調査	『岩神の民俗』・『新潟県上越市東頸都郡岩神』・『岩神再発見』などの資料と、自身の生活の中で得られた岩神の歴史や文化、人口の変遷などを調査。	5~7月
3 世帯構成調査	岩神に詳しい母の協力と合わせて「岩神版T型図」を作成。	10~12月
4 引力実態調査	岩神の住人を対象にアンケート調査及びヒアリング調査を行った。直接家に行き回答の協力をお願いした。	7~10月

岩神の世帯構成

調査

岩神の住人の年齢構成や世帯内の家族構成、岩神外の家族の存在やかかりわを知るべく、集落内の世帯構成の調査と分析を行った。

子どもも神輿や祭り、農業の手伝いなど、集落の賑いには住人以外が加わっている。単なる住人の数だけではなく、つながりの形がある。

この調査は鶴見真雄の「型集落点検」とある調査を行い、本研究では型集落図の作成及び家系図から読み取れる家族や集落の形、つながりを読み解くことを目的としている。

岩神の住人は5人だが、各家庭に家族があり、岩神外の人とかかわりを持っている。

岩神から出た子どもたちの往来の頻度や住人たる取り組む環境について考察するべく行った。

この調査で制作したものを「岩神版T型図」と呼ぶ。

分析

一岩神版T型図 世帯構成

世帯構成	数
夫婦世帯	12
独居世帯	6
核家族世帯	4
多世代世帯	2
計	24

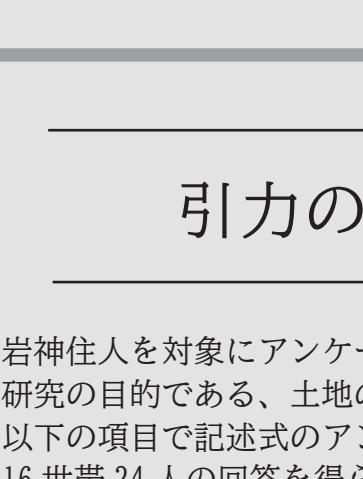
岩神版T型図 カテゴリ別人数

T型図のカテゴリ	人数
住んでいる人	52
よく来る人	34
たまに来る人	53
ほとんど来ない人	27
仕方なく出でていた人	5
計	171

岩神の半数が夫婦世帯であり、独居世帯も6世帯と全体の1/4を占めている。少し前にはさらに上の世代が同居していたが、亡くなったり施設に行ったりしているため、夫婦世帯が多くなっている。

また、住人52人に對して関わっている親族が171人となり多い数字になっている。

孤独



つながり

結果

これだけ多くの人が集落に関わり、脈いを支えており、家族は集落を超えて機能するということが分かる。将来的に見て行くと、2軒ある多世代世帯は、現在学生である10代が進学や就職でいなくなると、夫婦世帯や中高齢の親子世帯に変わってしまう可能性がある。集落は距離を超えて機能するが、集落とその人をつなぐ「家族」がいなくなれば、つながりが薄れてしまうだろう。一番多い「たまに来る人」は、親世代がいなくなるとどうするだろうか。彼らがどうするかでかかわりのバランスはかなり変わる。今回のT型図と、20年後のT型図は大きく異なるだろう。



岩神版T型図

引力の実態

岩神住人を対象にアンケート及びヒアリング調査の実施を行った。本研究の目的である、土地の持つ土地の持つ〈引力〉を調査するために、以下の項目で記述式のアンケート調査及びヒアリング調査を実施した。

16世帯 24人の回答を得られ、そのうち7人にヒアリングを行った。

質問項目	個人の人生背景
1. 人生年齢の記入	1. 年齢
2. 居住歴	2. 住む場所
3. 居住理由 / 離れた理由	3. 居住理由
4. 田畠での耕作の有無	4. 田畠での耕作の有無
5. 育てているもの	5. 育てているもの
6. 上記の阪神の有無	6. 上記の阪神の有無
7. そのきっかけ	7. そのきっかけ
8. 岩神への思い出	8. 岩神への思い出
9. 岩神のお気に入りの場所・理由	9. 岩神のお気に入りの場所・理由
10. なまなってほしくないもの	10. なまなってほしくないもの
11. 良いところ / 不良なところ	11. 良いところ / 不良なところ
12. あの大晦日は	12. あの大晦日は
「義務感」について (岩神 / 家族)	13. 岩神に関する「義務感」
14. 家族に関する「義務感」	14. 家族に関する「義務感」
現在	15. 個人の生きがい
将来	16. 岩神の現在について思うこと
その他	17. 個人の将来
	18. 岩神の将来
	19. 自由記述

居住理由

住んでいる理由



「家があるから」が最も多い回答になった。

皆、昔からある家に住んだり建て替えて住んだりしている。「農地を守る」と回答した人は、いずれも稻作をしていました。

土地とのつながり

田畠の耕作の有無

N=24

田畠の耕作の有無 (N=24) —

「自家の畠をやめている」というケーブルを見られた。「荒らさなくていい」という強い思いを持つ人もおり、周りの人々が荒れていますと心配されるからという理由で近所の住人に頼む80代女性がいた。

田畠

田畠の耕作の有無

田畠の耕作の有無 (N=24) —

田畠の耕作の有無 (N=24) —